

地域づくりシンポジウム

-住民主体の地域づくりを目指して-

令和
5年 12.12 (火) 18:45 ~ 21:00

幌延町では、持続的な地域づくりを目指して、令和4年度に問寒別地区地域づくりビジョンを策定しました。今後はビジョンの実現に向けた取組みに着手し、支え合い・助け合いの活動拠点となる「集落支援センター（仮称）」を整備するとともに、地域の暮らしを支える組織を立ち上げ、住民主体の地域づくりを目指していきたく考えています。

そのためには、みなさまの協力と理解、人材の確保や育成、地域と行政との連携、新たな仕組みづくりなど検討すべき課題がたくさんあります。

当シンポジウムでは、道内で地域活動を実践している方々を講師にお招きし、地域課題の解決に向けた取組みについてお話を伺う予定です。

問寒別地区の将来を考えるきっかけにしていきたいと考えておりますので、みなさまの参加をお待ちしております。

会場：問寒別生涯学習センター多目的ホール

(天塩郡幌延町字問寒別135-4)

ご参加者様向けに幌延市街から送迎バスを運行しますのでお申し込みください(18時役場前出発)

主催：幌延町役場 住民生活課 共催：地域づくりビジョン審議会、といかん本音トーク

●プログラム

●開会

- 事例紹介1 講師 芽室町 NPO法人上美生 理事 蘆田 千秋 氏
テーマ「上美生の地域活動を通して（仮）」



- 事例紹介2 講師 厚真町 住民活動団体「つむぎ」 代表 村上 朋子 氏
テーマ「わがまち わがこと～目指せ 現代版：江戸時代の長屋
コミュニティー～」

- 地域懇談会 司会：石井 旭（北海道立総合研究機構）
神長 敬（歴史地域未来創造 株式会社 やま子）

●講師紹介

蘆田千秋 あしだ ちあき（芽室町 NPO法人上美生 理事）

10年後の地域を考えるための「上美生ほしそらプラン会議」代表。集落のニーズを住民アンケートで収集し、高齢者宅の除雪サービス希望者自宅前に「置きスcoop」を配置し、通りがかりの人が「勝手に」除雪する方式「ほしそら除雪隊」など喫緊の地域課題解決を実践。レンタカーで部活生徒や高齢者送迎の実証実験。地区唯一のスーパー閉店を引継ぎNPO法人「上美生」を立ち上げ店舗を経営。「住民みんなでやれることはなんでもやる」の精神で、居場所「上美生ふれあい広場ひだまり」、地域交通実証実験を経て有償旅客運送「KAMI便」運行など地域活動拠点として活動の幅を広げている。



村上朋子 むらかみ ともこ（厚真町 住民活動団体「つむぎ」 代表）

2008年に趣味のサーフィンができる厚真町に移住。胆振東部地震では町社会福祉協議会の職員として、被災者の支援にあたった。2021年カフェ開業と同時期にコミュニティの中で地域福祉を進めたいという想いで地域活動任意団体「つむぎ」を立ち上げ、生きがい・健康づくりや多世代交流の企画、住民自主活動支援を行っている。小さな拠点づくりの一環として集落ごとに「ごちゃまぜカフェ」や住民主体のマルシェも開催。子供から高齢者が集える居場所づくりをコミュニティーレベルから展開中。また、教育・福祉・産業経済の横ぐし化を目指し㈱おでんの設立メンバーの一人となり、直売所・コミュニティカフェ・ワークショップ・放課後児童見守り、居酒屋など全ての人が参加できる主体的コミュニティの場の運営を目指している。



●問合せ・申込み（バス）

幌延町 住民生活課 地域対策係 天塩郡幌延町宮園町1番地1
電話：5-1112（内線152）、告知端末5-8812

